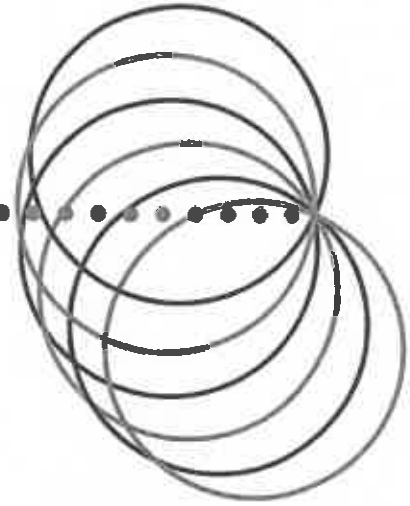


令和元年度

高松市外部評価
対象事業資料



○8月22日（木） 9：30～12：00

評価対象事業

- 1 災害援護事業
- 2 障がい者スポーツ推進事業

○8月23日（金） 9：30～12：00

評価対象事業

- 3 たかまつマイロード事業
- 4 ふるさと高松応援寄附促進事業

平成31年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	災害援護事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
31年度概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	関連根拠法令	災害対策基本法

【事業の目的】

対象（何を）	要介護認定3～5の人など災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の方などの避難行動要支援者。
意図（どのような状態にしたいか）	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の人など（避難行動要支援者）に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 H2
① 避難行動要支援者新規登録希望調査票発送数	件		4,647	4,779	5,000	5,000
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
避難行動要支援者新規登録率	%	目標値		20	20	20	20
		実績値		16.5	12.5		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成30年度における避難行動要支援者登録対象者4,779人に対して申請書を送付したところ、597人の登録希望があり、12.5%の登録率にとどまり、目標値としての20%を下回った。 (目標達成度)							(達成度) 62.5% 21点
成果指標①							
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
成果指標②							

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度 (決算)	平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	平成31年度 (予算)
トータルコスト	[千円]	37,497	15,638	14,700	15,167
(事業費)	[千円]	21,795	2,740	4,113	4,580
(職員人件費)	[千円]	15,702	12,898	10,587	10,587

【事業内容と事業費内訳】

項目	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
事業内容	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の保護事業	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の保護事業	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の保護事業	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の保護事業
積算根拠等(予算の増減理由)	保護費 0 保護資金貸付金 9 小規模災害保護費 2,180 避難行動要支援者名簿整備費 1,924	保護費 0 保護資金貸付金 1,546 小規模災害保護費 910 避難行動要支援者名簿整備費 2,124	保護費 0 保護資金貸付金 1,546 小規模災害保護費 910 避難行動要支援者名簿整備費 2,124	保護費 0 保護資金貸付金 1,546 小規模災害保護費 910 避難行動要支援者名簿整備費 2,124
総額	4,113	4,580	4,580	4,580
特定財源				
国				
県				
市債		1,500	1,500	1,500
他				
一般財源	4,113	3,080	3,080	3,080

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性	一次評価	継続
			二次評価	継続
事業の目的・手法は、市民のニーズや社会情勢に照らして、妥当か。				
高松市地域福祉計画の中の重要課題のひとつ「共に生き、支え合う地域づくり」の推進のために避難行動要支援者の支援は重要であり、市の関与は妥当である。				
上位施策目標及び住民福祉の向上に貢献しているか。				
高齢者、障がい者が安全・安心に暮らすことができ「共に生き、支え合う地域づくり」の推進に貢献している。				
費用対効果はどうだったか。				
今後も登録対象者要件に基づいて、積極的に避難行動要支援者の登録を行っていく。				
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）				
避難行動要支援者名簿を平時から整備し、地域支援組織と情報共有しているが、平成30年度は障害支援区分3～6の者を新たに避難行動要支援者名簿対象者とし、新規登録申請を呼びかけたとともに、昨年度に引き続き、地域コミュニティ協議会と連携し、登録情報の更新等に取り組んだ。今後も、協議会と連携し、地域の共助、防災意識を高め、名簿登録率の向上等につなげたい。				
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）				
避難行動要支援者名簿の情報更新に係る制度改善を、地域コミュニティ協議会と連携して継続的に実施していく。				

災害援護事業

健康福祉総務課

1 災害援護事業

災害援護事業

- ・ 災害援護資金貸付事業
- ・ 小規模災害援護事業
- ・ 避難行動要支援者名簿整備事業

近年、全国各地で記録的な豪雨や災害に見舞われており、避難行動要支援者への支援の重要性が高まっている。

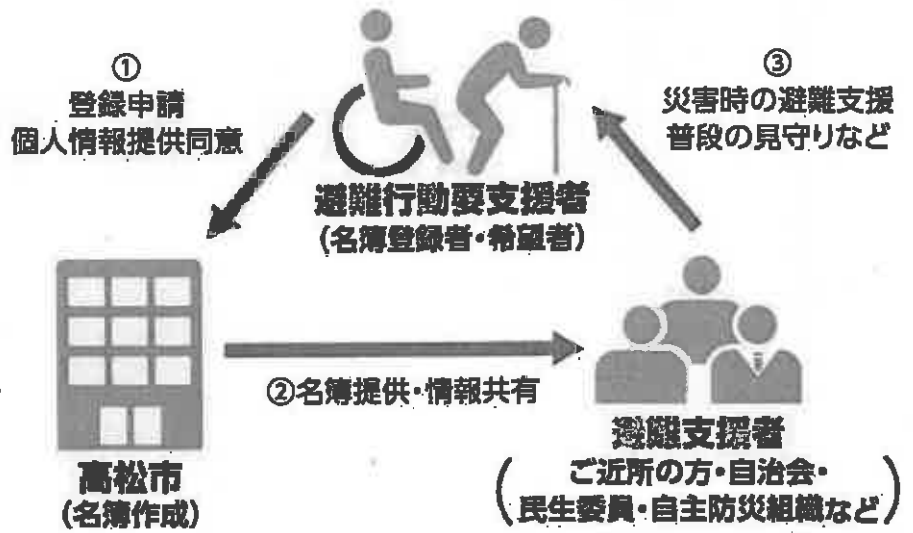


本市における避難行動要支援者名簿整備事業の充実を図りたい。

2 避難行動要支援者名簿

災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の方などに対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制づくりを行うために、地域で避難支援を希望される方の情報を名簿に登録し、地域支援組織に対して名簿を提供し、平常時の見守りや災害時の避難支援、安否確認などに役立ててもらうもの。

支援の仕組み(イメージ図)



3 避難行動要支援者



- ① 介護保険における要介護認定を受けており、要介護3～5の方
- ② 身体障害者手帳の交付を受けており、障がいの程度が1級又は2級の方
- ③ 療育手帳の交付を受けており、障がいの程度がA又はⒶ判定の方
- ④ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けており、障がいの程度が1級の方
- ⑤ 障害者総合支援法の障害支援区分の認定を受けており、区分3～6の方
- ⑥ 75歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯
- ⑦ 前各号に準じる状態にあり、災害時の支援が必要と認められる方

4 避難支援者



災害時の情報伝達や一緒に避難する方

- ・ ご近所にお住まいの方

地域支援組織（災害時の協力関係団体）

- ・ コミュニティ協議会
- ・ 連合自治会
- ・ 民生委員・児童委員
- ・ 地区社会福祉協議会
- ・ 自主防災組織

5 本市の役割



避難行動要支援者名簿登録の呼びかけ

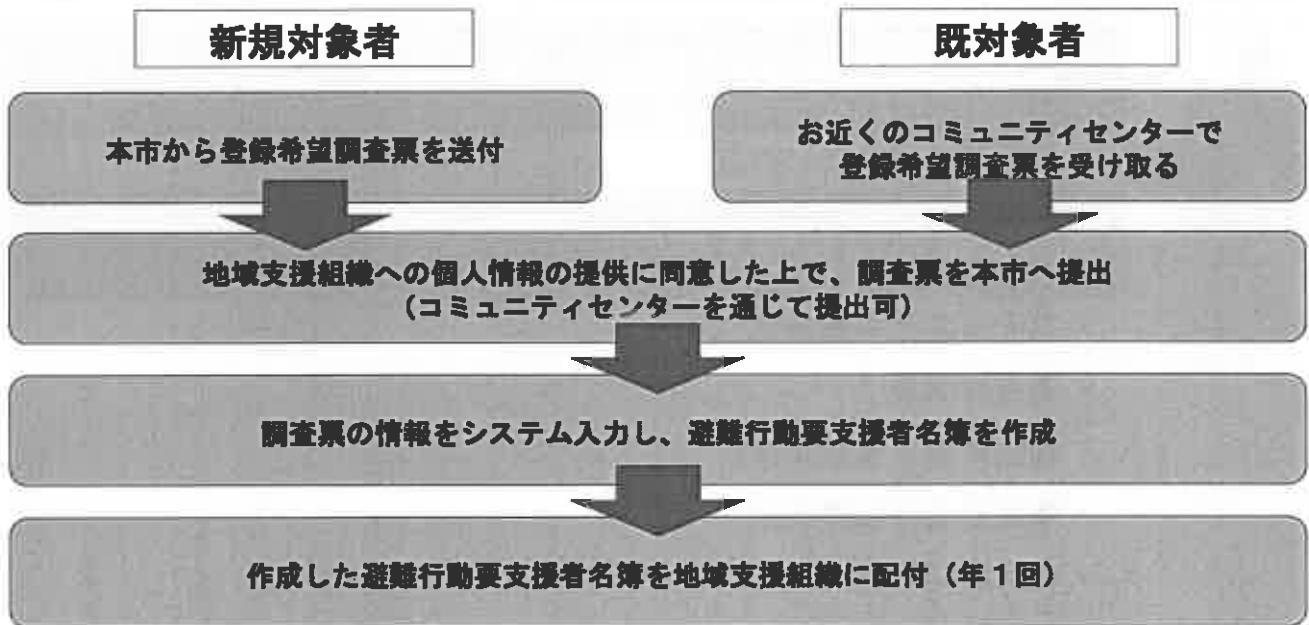
- ・ 新たに登録対象者となった方に対し、登録希望調査票を送付
- ・ 広報たかまつやSNSによる制度周知
- ・ 登録対象者の関係団体に対する制度周知





避難行動要支援者名簿の活用

- ・ 避難行動要支援者名簿の配付（年1回）
- ・ 関係団体に対する制度周知

6 避難行動要支援者名簿の登録から作成の流れ



7 避難行動要支援者名簿の活用

		平常時	避難準備・高齢者等 避難開始等発令時	避難行動時
 高松市		名簿管理（登録・更新） 名簿登録の普及啓発	発令による避難呼び掛け	安否状況把握
	自治会等	名簿管理（更新） 名簿登録者への声かけ 名簿を活用した防災訓練	避難支援者へ連絡	安否状況把握 避難状況の報告
 避難支援者	ご近所の方	名簿登録者への声かけ 防災訓練への参加	避難行動要支援者へ連絡	避難支援及び誘導 避難状況の報告
	 避難行動 要支援者	登録内容の変更申請 避難支援者との関係強化 防災訓練への参加	避難支援者から 情報受理	避難行動 身体状況等の伝達

8 避難行動要支援者名簿整備における課題

平成31年4月1日現在

名簿登録対象者数（人）	登録者数（人）	登録率（％）
41,102	11,783	28.67

【本市における課題】

○真に登録が必要な方の把握

名簿登録対象者には、家族の支援が受けられる方や自ら避難することが可能な方も含まれることから、真に登録が必要な方の把握及びその方に対する制度周知や名簿登録の実施が必要。

○要支援者が多い地域での制度維持

高齢化社会に伴い、地域内において支援者となる方が少ない地域もあり、避難支援者が複数の要支援者を支援する状況になっている。

平成31年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	元気を生み出すスポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	基本事業	市民スポーツ活動の推進		事業実施主体	市
	事務事業	障がい者スポーツ推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者のスポーツ推進を図るため、本市スポーツ施設における環境整備や障がい者スポーツ大会の誘致等を通じて、障がい者のスポーツ人口の増大と競技力の向上に取り組みます。				
	31年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ振興課 <ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国パラ陸上競技大会の開催（補助） ・障がい者対応のスポーツ環境整備 ●障がい福祉課 			
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	関連根拠法令	スポーツ基本法	

【事業の目的】

対象（何を）	市内の障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者のスポーツ人口の増加及び競技力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
① 障がい者対応のスポーツ環境整備件数	件		2	2	1	5
② 障がい者スポーツの振興に関するイベント件数	件			22	10	10

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
香川県障がい者スポーツ大会への参加人数	人	目標値	247	250	271	283	283
		実績値	251	189	212		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を下回った達成度となったものの昨年度実績より上向きとなった。なお、大会については開会式後に降雨が激しくなり、競技自体は中止となったため、競技に参加する予定であった当日の参加者の人数を計上している。 (目標達成度)							(達成度) 78.2%
							27点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]	10,221	15,644	26,419	12,082
（事業費）	[千円]	800	6,540	17,345	3,008
（職員人件費）	[千円]	9,421	9,104	9,074	9,074

【事業内容と事業費内訳】

項目	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◎スポーツ振興課 <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者対応のスポーツ環境整備 ・日本パラ陸上競技選手事前合宿 ・日本パラ陸上競技選手権大会の開催（補助、ネット配信、イベント） ◎障がい福祉課 <ul style="list-style-type: none"> ・日本パラ陸上競技選手権大会中継業務委託 ・ポッチャ交流大会開催委託 ・日本パラ陸上競技選手権大会従事者等接遇研修業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ◎スポーツ振興課 <ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国パラ陸上競技大会の開催（補助） ・障がい者対応のスポーツ環境整備 ◎障がい福祉課 <ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国パラ陸上競技大会の開催（イベント） ・ポッチャ交流大会開催委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国障がい者陸上競技大会の開催（補助、イベント） ・障がい者対応のスポーツ環境整備 ・種目別競技大会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者対応のスポーツ環境整備 ・種目別競技大会開催 ・障がい者スポーツイベント
の増減理由（予算）	4,130千円 235千円 9,035千円 3,506千円 259千円 180千円	200千円 1,573千円 966千円 269千円	1,184千円 2,037千円 269千円	2,037千円 269千円
総額	17,345	3,008	3,490	2,306
特定財源				
国				
県				
市債	2,100	1,400		
他				
一般財源	15,245	1,608	3,490	2,306

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性	一次評価	継続
			二次評価	継続
事業の目的・手法は、市民のニーズや社会情勢に照らして、妥当か。				
障がい者スポーツの推進を基本施策に掲げ障がい者スポーツ大会の誘致を契機とし、障がい者スポーツの啓発、情報発信及び施設のバリアフリー化を順次進めている。				
上位施策目標及び住民福祉の向上に貢献しているか。				
第29回日本パラ陸上競技選手権大会に併せ、PRイベントやパラリンピアンによる講演、小学生との交流事業を実施することにより本市の取り組みを幅広く周知する。				
費用対効果はどうだったか。				
「連携・包括協定」を締結した企業や地域貢献活動として様々な取組をしている民間企業、各種関係団体と連携することにより、費用の削減が図られた。				
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）				
四国初開催となる第29回日本パラ陸上競技選手権大会は、事前の各種取組や周知啓発の成果により、全国的にメディアに取り上げられ、多くの市民にご来場いただき、障がい者スポーツの振興に大きく寄与した。 31年度は29年度に開催した中国・四国パラ陸上競技大会を引き続き開催する予定であるため、日本パラ陸上競技選手権大会の開催経験を生かし、障がい者に焦点を当てた、気軽にスポーツに取り組めるような体制づくりや情報発信を進めていく必要がある。				
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）				
障がい者スポーツ大会の誘致を進め、本市のスポーツイベントに併せ、障がい者スポーツ体験や交流事業は継続的に実施していく。				

障がい者スポーツ推進事業

高松市創造都市推進局 スポーツ振興課

1. 事業概要

スポーツ基本法

第 9 条第 1 項
第 10 条第 1 項

第 6 次高松市総合計画

【スポーツの振興】

スポーツ推進計画 (H28~R5)

基本施策 障がい者スポーツの推進

・スポーツ施設環境整備
・障がい者スポーツ大会の誘致

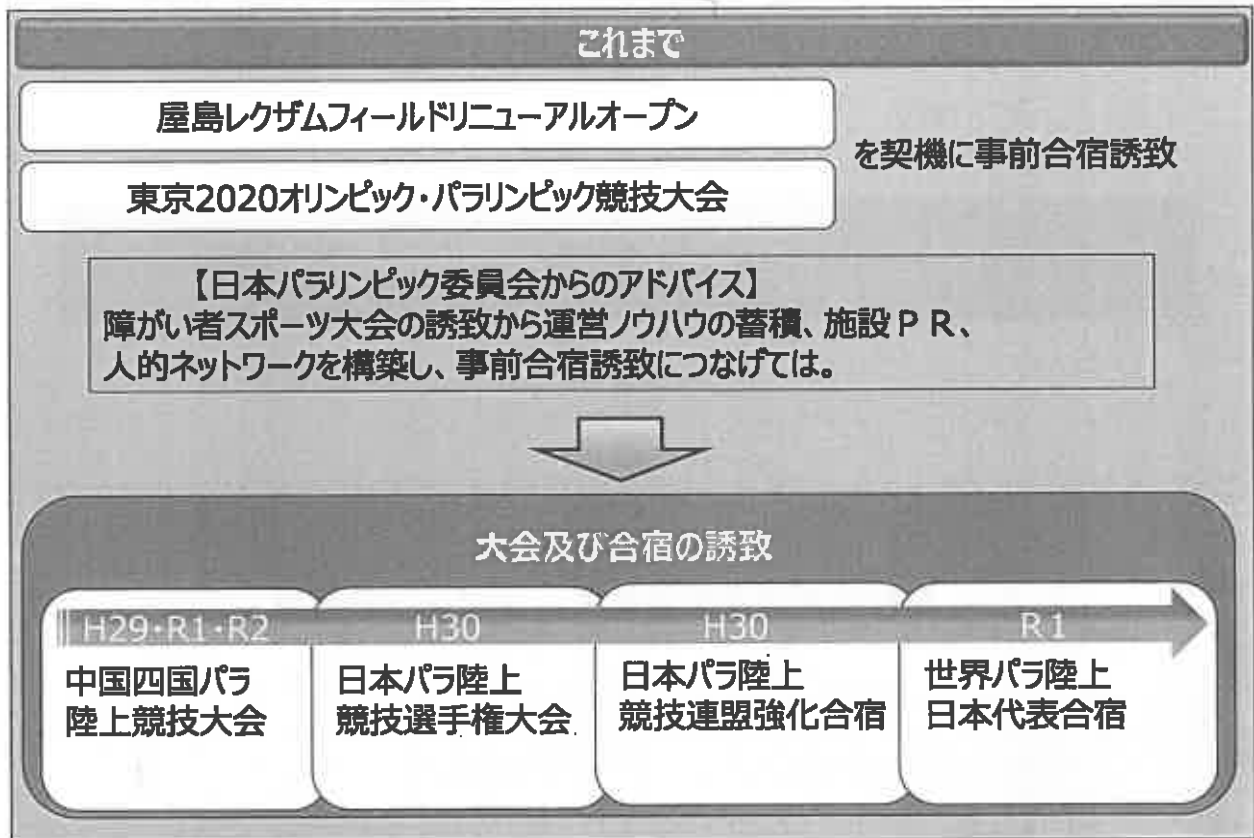


・障がい者スポーツの人口増大
・競技力の向上

具体的には

- ・屋島レクザムフィールドの改修、設備の充実
- ・関連イベントの実施
- ・パラリンピアン等との交流事業
- ・全国規模の大会や事前合宿を定期的に誘致・開催

2. 本市の取組



2. 本市の取組

屋島レクザムフィールドの改修、設備の充実

特 徴	内 容
スロープ等の設置	駐車場等から客席やフィールドに、段差なく移動可能
車いす利用者への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● エレベーター、更衣室、シャワー室等の寸法等配慮 ● 専用の観覧スペース、駐車場を設置
視覚障がい者への配慮	点字案内や点字ブロック等を設置
多目的トイレ	オストメイト用設備、ベビーシート・チェアを設置
障がい者用投てき設備	全国に先駆けて、障がい者用のやり投げ・砲丸投げ用 専用設備の設置



2. 本市の取組

関連イベントの実施 パラリンピアン等との交流

中国・四国パラ陸上競技大会 (H29,R1)

- 屋島レクザムフィールドで四国初開催 (3か年開催 (H29、R1、R2))
- 約100名超のパラアスリートが出場



■ 関連イベントの開催

- ・障がい者を中心とした参加型イベント (H29)
- ・交流事業 (パラアスリートと市内小学校10校) (R1)
- ・障がい者スポーツ体験ブース (R1)



2. 本市の取組

日本パラ陸上競技選手権大会 H30.9.1-2

- 障がい者陸上の国内最高峰の大会を屋島レクザムフィールドで四国初開催
- 参加選手は307名 (2日間延べ) 3つのアジア記録が誕生



■ 関連イベントの開催

- ・PRイベント (丸亀町商店街、小学校)
- ・交流事業 (市内小学校10校)
- ・こども記者、こどもボランティア、作品展示
- ・各種体験ブース、障がい者観戦ツアー



2. 本市の取組

日本パラ陸上競技選手権大会 H30.9.1-2

■大会周知・PR

- ・懸垂幕、看板、横断幕、サイネージ広告等
(商店街、琴電、JR高松駅、屋島レクザムフィールドほか)
- ・オーブガイナースホームゲームでの始球式
- ・カマタマーレ讃岐ホームゲームでの花束贈呈



大会史上最高の約5,600人の来場

市民の

障がい者スポーツを見る機会を創出

パラアスリートと触れ合う機会を創出

障がい者スポーツへの
認知・関心

障がい者スポーツの
人口増大
競技力の向上

3. 今後の方向性

全国規模の大会や事前合宿を定期的に誘致・開催

引き続き、大会及び合宿の誘致を契機とした障がい者スポーツの推進

東京パラリンピック開催まで

2020中国・四国パラ陸上競技大会の開催

台湾パラ選手の事前合宿実施

大会・合宿開催に併せた選手との交流

機運
醸成

後押し

東京パラリンピック開催以後

機運
低下

食止め

ジャパンパラ陸上競技大会の開催

世界パラ陸上競技選手権大会事前合宿の実施

大会・合宿に併せた交流事業を継続

3. 今後の方向性

パラ陸上競技大会・合宿スケジュール

	R元年度(2019)				R2年度(2020)				R3年度(2021)			
	第1期	第2期	第3期	第4期	第1期	第2期	第3期	第4期	第1期	第2期	第3期	第4期
本市		● 6月 中四パラ	● 10月 世界パラ事前合宿 (日本代表)		● 6月 中四パラ	● 8月 東京パラ事前合宿 (台湾)			● 8月 世界パラ事前合宿 (国内or国外)	★ 6月 ジャパンパラ(高松)		
		● 世界パラ事前合宿での 交流事業	● 中西パラでの交流事業 (調整期間含む)	→			● ジャパンパラ・世界パラ事前合宿での 交流事業(調整期間含む)	→				
大会	● 6月 日本パラ(大阪市) ● 7月 ジャパンパラ(岐阜)		● 11月 世界パラ陸上 (ドバイ)		● 5月 ジャパンパラ(東京)	● 8月 東京パラリンピック		※時期未定 日本パラ(埼玉)		● 9月 世界パラ陸上 (神戸)	※時期未定 日本パラ(神戸市)	

3. 今後の方向性

地域からの障がい者スポーツ普及の底上げ

障がい者スポーツ体験等の実施

パラ陸上競技大会関連イベントや本市主催のスポーツイベントでの

- ・民間企業と連携した体験(ボッチャ、義足・レーサー試乗等)の実施
- ・選手への応援や障がい者スポーツを題材とした作品の展示
- ・障がい者スポーツ用具を購入して、多様な競技の体験を実施

スポーツ推進委員等との協力

- ・障がい者スポーツの普及・振興を図るための研修会の実施
- ・障がい者スポーツ用具を活用した地域でのレクリエーションイベントの企画運営

4. まとめ

屋島レクザムフィールドを拠点に障がい者スポーツを推進

ユニバーサルデザインに対応した競技場で大会・合宿誘致を積極的に進めていく。

地域での障がい者スポーツの推進

大会関連イベント等やスポーツ推進委員等の協力により、障がい者スポーツの体験の機会を増やし、地域に根差した障がい者スポーツの普及を進めていく。

共生社会の実現

本市の取り組みを継続的かつ効果的に実施することにより、障がい者スポーツの裾野の拡大や障がい者の社会参加の促進につなげる。

平成31年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	道路管理課
	施策	環境保全活動の推進		電話番号	087-839-2515
	基本事業	自然環境の保全・環境美化の推進		事業実施主体	市
	事務事業	たかまつマイロード事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市道において、自発的意思のもとに、清掃等の維持管理を行う自治会などの市が認定した道路愛護団体（認定団体）に対し、用具の支給、ごみの収集、傷害保険の加入などの支援を行うことにより、環境保全活動を推進するとともに、道路への愛護意識の高揚を図る。		
31年度概要	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意思のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集・傷害保険の加入などを支援する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	関連根拠法令	たかまつマイロード実施要領

【事業の目的】

対象（何を）	市道
意図（どのような状態にしたいか）	道路の環境美化、道路利用者のマナー向上が図れる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R-2
① 用具の支給等支援回数	回	116	116	118	121	123
②						

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R-2
清掃延長	km	目標値	136	136	137	138	139
		実績値	135	135.9	138		
成果指標① 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 30年度は、3団体が新たに参加し、1団体が廃止したことから、団体数は118、清掃延長は138.0kmとなった。 (目標達成度)							(達成度) 100.7%
							35点
成果指標② 成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]	4,292	4,072	3,189	3,901
（事業費）	[千円]	3,036	2,858	1,979	2,691
（職員人件費）	[千円]	1,256	1,214	1,210	1,210

【事業内容と事業費内訳】

項目	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
事業内容	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意志のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集・傷害保険の加入などを支援する。	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意志のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集・傷害保険の加入などを支援する。	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意志のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集・傷害保険の加入などを支援する。	市が管理する道路の一定区間について、各種団体や市民ボランティアなどの市が認定した道路愛護団体が自発的意志のもとに行う、清掃・緑化等の維持管理に対し、清掃用具の支給・ごみの収集・傷害保険の加入などを支援する。
の増減理由	消耗品費 1,005千円 保険料 974千円 計 1,979千円	消耗品費 1,056千円 保険料 1,485千円 工事費 150千円 計 2,691千円	消耗品費 1,056千円 保険料 1,485千円 工事費 150千円 計 2,691千円	消耗品費 1,056千円 保険料 1,485千円 工事費 150千円 計 2,691千円
総額	1,979	2,691	2,691	2,691
特定財源	0	0	0	0
国	0	0	0	0
県	0	0	0	0
市債	0	0	0	0
他	0	0	0	0
一般財源	1,979	2,691	2,691	2,691

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性	一次評価	継続
			二次評価	継続
事業の目的・手法は、市民のニーズや社会情勢に照らして、妥当か。				
地域住民の自主的な活動に対し、これを市が支援することが妥当である。				
上位施策目標及び住民福祉の向上に貢献しているか。				
本事業は、環境保全活動の推進につながる事業である。				
費用対効果はどうだったか。				
清掃道具の購入や保険加入に要する経費に対し、清掃延長の割合は昨年度より向上している。				
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）				
昨年度は新たに3団体が加入し、1団体が廃止したことから、30年度末現在で118団体となっており、清掃延長は135.9kmから138kmへと増加した。				
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）				
高齢化に伴う認定団体の減少が懸念されるが、引き続き、たかまつマイロードの活動を支援する事業を継続していく。				

たかまつマイロード事業

高松市 都市整備局 道路管理課

1 事業の概要について

(1) 事業目的

自治会や事業所等で構成する道路愛護団体を認定し、市道の一定区間の清掃や緑化等の活動を自発的に行っていただく取り組みであり、**道路の環境美化のみならず、道路への愛護意識の高揚と道路利用者のマナー向上**を啓発することを目的としている。

(2) 認定基準

市道の概ね**500m以上**となる一定区間における清掃や緑化等の活動を、**年4回、2年以上**継続して行うことを要件としている。

(3) 市の支援

作業に必要な**清掃用具等の支給、清掃作業等参加に伴う傷害保険の加入**、また、**救急用品や作業用ベストの貸与**などを行っている。

(4) 広報周知

高松市ホームページや広報たかまつのほか、**地域コミュニティ協議会や自治会**に対しチラシを配布することなどにより、加入促進に取り組んでいる。

2 事業の課題について

平成30年度末現在、認定団体数は118、清掃延長は約138キロメートルとなっており、本制度の周知は、高松市HP、広報たかまつ、及び地域コミュニティ協議会等へ行っているが、認定団体における担い手の高齢化等に伴い、清掃作業等が困難となるなど、団体数の減少を懸念しているところであり、厳しい財政状況の下、事業の効果を高めていくことが必要である。

3 今後の取組みについて

平成13年度に創設した本制度は、創設後、長期間を経過していることから、同種の事業を行っている国や県の制度等を踏まえ、認定基準を緩和することにより、認定団体の継続的な活動に資するとともに、新たな認定団体の加入促進に取り組んでいく予定である。

○認定基準の主な改訂内容

	国	県	高松市	
			現行	改訂(案)
実施延長	協議決定*	100m以上	500m以上	100m以上
実施回数	協議決定*	年2回以上	年4回以上	年2回以上

※目安：人通りの多い商店街などは100m程度、郊外などは500m～3km

4 質問項目に対する回答について

- (1) 認定団体の活動実態、実施体制及び市のチェック体制について
 認定団体は、毎年2月末日までに翌年度の作業計画書等を提出し、作業終了毎に実績報告書を提出することにより、年4回の作業を確認している。
 ①団体一覧（別添資料1参照）
 ②年齢比率等

ア 認定団体構成比（平成30年度末現在）

区分	団体数	構成比
自治会	60	50.8%
企業	48	40.7%
教育機関	10	8.5%
全体	118	100.0%

イ 認定団体における年齢構成比（平成30年度末現在）

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
自治会	0.3%	2.0%	5.3%	6.9%	11.9%	23.3%	29.9%	20.4%
企業	1.6%	14.4%	19.3%	30.9%	20.3%	10.6%	1.9%	1.0%
教育機関	75.9%	16.1%	6.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	4.9%	9.4%	12.9%	19.4%	15.8%	15.3%	13.4%	9.0%

4 質問項目に対する回答について

(2) 現在の経費と民間委託した場合の費用比較について

道路への愛護意識の高揚と道路利用者のマナー向上を啓発することを目的としており、結果的に本市が管理を行う場合と比較し、財政面でも有利である。

(平成30年度末現在：清掃延長＝138km (うち除草延長＝60.23km))

	現在の経費	民間委託した場合の費用		
	H30年度事業費	路面清掃 ^{※1}	除草 ^{※2}	計
金額 (千円)	1,979	7,038	11,564	18,602

※1 路面清掃：路面清掃車による業務委託に要する費用

※2 除草：肩掛式草刈機による業務委託に要する費用

(3) 企業に対する働きかけについて

これまで、市のホームページや広報紙によるPR及び地域コミュニティ協議会や自治会に対する本制度の周知を図っているほか、平成30年度において、国道及び県道で実施している道路愛護団体（民間企業含む）への周知を行うなど、新たな認定団体の加入促進に取り組んでいる。

平成31年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	納税課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2222
	基本事業	健全な財政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	ふるさと高松応援寄附促進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ふるさと高松応援寄附促進に係る事務
31年度概要	ふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、ふるさと高松応援寄附制度を、魅力あるものとし、より多くの方々から応援・寄附していただけるよう努める。
重点取組事業	市長マニフェスト 関連根拠法令 ふるさと高松応援寄附条例

【事業の目的】

対象(何を)	ふるさと納税制度を活用し、高松市に対して寄附をした人
意図(どのような状態にしたいか)	高松市が取り組んでいくまちづくりを応援していただけるよう、寄附金対象事業を積極的にPRすることで、寄附者を増やしていく。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
① ふるさと高松応援寄附金使途対象事業選択数	件	3,213	1,772	1,218	6,415	6,415
②						

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
ふるさと納税寄附人数	人	目標値	12,279	13,478	13,478	13,478	13,478
		実績値	8,783	6,581	4,380		
成果指標① 成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) お礼品競争の過熱に対する国の通知があったが、返礼割合が国の通知の基準を超える自治体へのかけこみ寄附などにより、目標値を下回った。 (目標達成度)			(達成度) 32.6% 11点				
ふるさと納税寄附金額	千円	目標値	184,000	200,000	200,000	200,000	200,000
		実績値	131,466	124,617	104,875		
成果指標② 成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新たなお礼品の採用や、クラウドファンディングなどに取り組んだが、目標値を下回った。 (目標達成度)			(達成度) 52.4% 18点				

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[千円]	67,542	69,659	56,369	70,891
（事業費）	[千円]	55,765	58,278	45,026	59,548
（職員人件費）	[千円]	11,777	11,381	11,343	11,343

【事業内容と事業費内訳】

項目	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
事業内容	ふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、ふるさと高松応援寄附制度を、魅力あるものとし、より多くの方々から応援・寄附していただけるよう努める。	ふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、ふるさと高松応援寄附制度を、魅力あるものとし、より多くの方々から応援・寄附していただけるよう努める。	ふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、ふるさと高松応援寄附制度を、魅力あるものとし、より多くの方々から応援・寄附していただけるよう努める。	ふるさと納税制度の趣旨を踏まえ、ふるさと高松応援寄附制度を、魅力あるものとし、より多くの方々から応援・寄附していただけるよう努める。
積算根拠等（予算の増減理由）	ふるさと高松応援促進費 役務費 133千円 委託料 44,893千円	ふるさと高松応援促進費 需用費 39千円 役務費 244千円 委託料 59,265千円	ふるさと高松応援促進費 需用費 39千円 役務費 244千円 委託料 59,265千円	ふるさと高松応援促進費 需用費 39千円 役務費 244千円 委託料 59,265千円
総額	45,026	59,548	59,548	59,548
特定財源	国			
	県			
	市債			
	他			
一般財源	45,026	59,548	59,548	59,548

【評価】

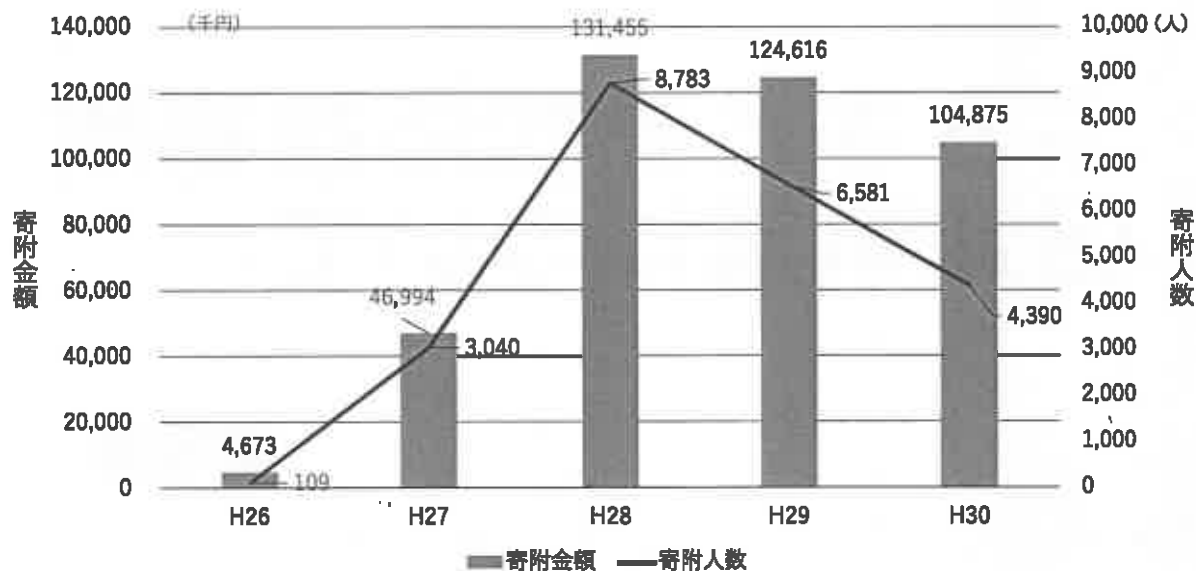
評価ランク (A~D)	C	今後の方向性	一次評価	継続
			二次評価	継続
<p>事業の目的・手法は、市民のニーズや社会情勢に照らして、妥当か。</p> <p>寄附金の管理やお礼品の選定については市が行う必要があるが、ふるさと納税インターネット専用サイトによる寄附金受付及びお礼品等発送事務を平成27年度から民間事業者へ委託している。</p>				
<p>上位施策目標及び住民福祉の向上に貢献しているか。</p> <p>市の歳入増に貢献している。</p>				
<p>費用対効果はどうだったか。</p> <p>委託事業者を効果的に活用し人件費が膨らまないようにするとともに、お礼品の購入費等は、制度の趣旨を踏まえ、高コストとならないよう努めてきた。</p>				
<p>【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）</p> <p>制度の趣旨を遵守しながら、より多くの方々から応援していただけるよう、寄附金使途となる事業をホームページ等の活用により積極的にPRするとともに、お礼品の追加・見直しなどを行ったほか、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディング「世界盆栽プロジェクト～高松が切り拓く世界のBONSAI」を実施した。しかし、寄附人数、寄附金額ともに目標、前年度実績を下回ったことから、国の基準に適合した内容としながら、より多くの人に情報を発信する必要がある。</p>				
<p>【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）</p> <p>ふるさと納税制度の趣旨を踏まえた上で、お礼品の見直しや新しいお礼品の開拓等を行い、本市ふるさと高松応援寄附制度を魅力あるものとしていく。またより多くの人に情報を発信するために、既存のサイトに加え、新たなふるさと納税ポータルサイトにも掲載を行う。</p>				

2 寄附金額、寄附人数の推移

○ふるさと高松応援寄附金の寄附金額、寄附人数の推移は下記のとおり。

○平成30年度の実績は、1億487万5千円、4,390人。

○寄附金額、寄附人数ともインターネットによる寄附受付を開始した平成27年度から平成28年度にかけて大幅に増加したものの、その後は減少している。



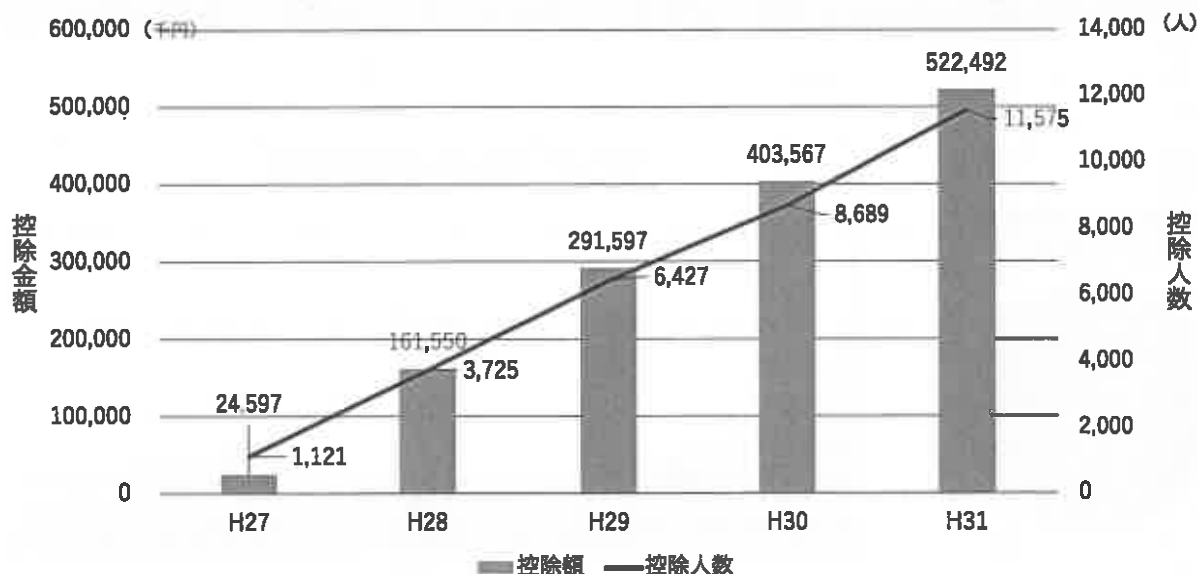
※H29までは決算、H30は決算見込み

3 市民税からの控除額の推移

○本市市民税からの控除額の推移は下記のとおり。

○平成30年度の実績は、5億2,249万2千円、11,575人。

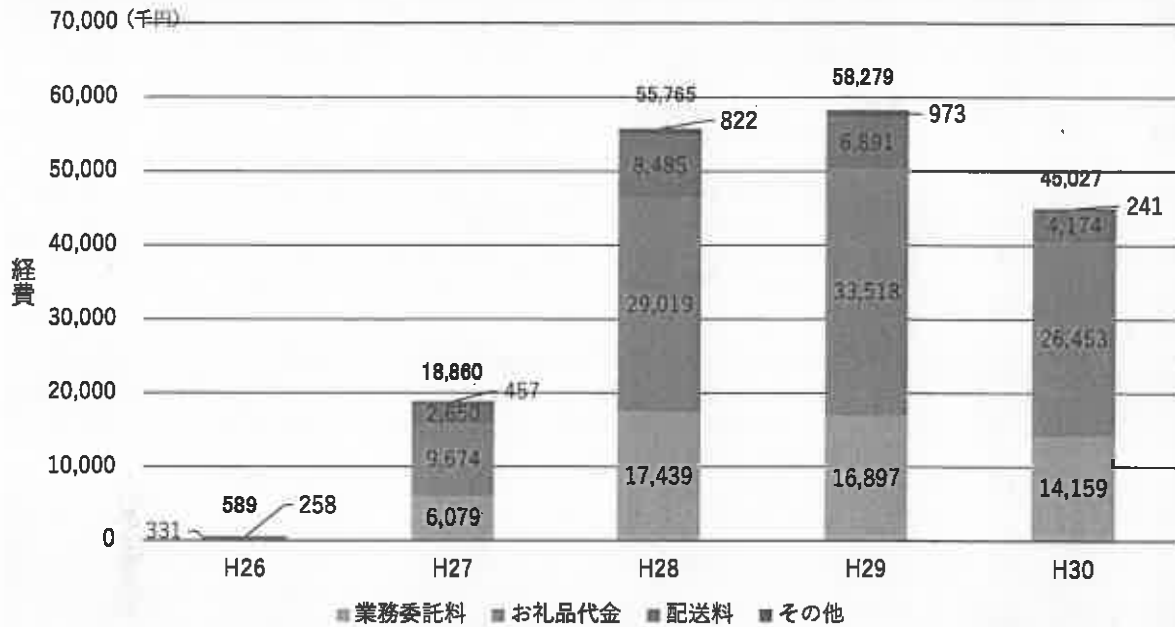
○控除金額、控除人数とも、毎年度増加している。



※課税状況調べより

4 ふるさと納税業務に係る経費の推移

○ふるさと高松応援寄附金の募集に要した経費の推移は下記のとおり。
 ○平成30年度の実績は、4,502万7千円(寄附金額の約43%)
 ○概ね寄附金額の増減に連動して増減しているが、平成29年度は返礼割合が高くなったため、前年度比増となっている。



5 寄附金の使途について(1)

○ふるさと納税制度の利用促進を図るため、寄附対象事業について、具体的な事業名を掲載し、使い道を選択できるようにしている。寄附対象事業については、毎年度、庁内全課に対し、市外の寄附者にPRしたい事業やまちづくりへの応援を働きかけられる事業について募集した上で決定している。

令和元年度寄附対象事業

1 優やかにいきいきと暮らせるまちに関する事業 ユニバーサルデザイン推進事業 こども食堂等支援事業 保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業 高齢者居場所づくり事業 障がい者アートリンク事業		4 安全で安心して暮らし続けられるまちに関する事業 動物愛護センター整備等事業 消防施設等整備事業	
2 心豊かで未来を築く人を育むまちに関する事業 高松第一高等学校校舎等改築事業 図書館資料整備事業 子どもを中心とした地域交流事業		5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまちに関する事業 地域公共交通再編事業 高松丸亀町商店街再開発事業	
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまちに関する事業 瀬戸内国際芸術祭推進事業 地域密着型トップスポーツチーム支援事業 屋島活性化推進事業 高松城跡整備事業		6 市民と行政がともに力を発揮できるまちに関する事業 地域まちづくり交付金事業 協働企画提案事業	
7 その他市長が必要と認める事業			

5 寄附金の使途について(2)

平成30年度寄附対象事業に係る事業費、寄附金額等

寄附金を充当する事業		事業費(千円)	件数(件)	寄附金額(千円)
健やかにいきいきと暮らせるまちに関する事業	こども食堂等支援事業	255	414	8,929
	高齢者居場所づくり事業	11,991		
	障がい者アートリンク事業	12,487		
	新病院整備事業	6,930,634		
心豊かで未来を築く人を育むまちに関する事業	英語教育推進事業	112,881	288	5,282
	高松第一高等学校校舎等改築事業	84,667		
	図書館資料整備事業	72,102		
	子どもを中心とした地域交流事業	940		
産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまちに関する事業	瀬戸内国際芸術祭推進事業	50,444	199	2,893
	日本パラ陸上競技選手権大会開催事業	9,035		
	屋島活性化推進事業	79,599		
	高松城跡整備事業	25,094		
安全で安心して暮らし続けられるまちに関する事業	動物愛護センター整備等事業	235,469	165	3,425
環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまちに関する事業	新病院を核としたまちづくり推進事業	301,993	112	2,779
	地域公共交通再編事業	880,056		
	高松丸亀町商店街再開免事業	204		
	地域まちづくり交付金事業	305,197		
市民と行政がともに力を発揮できるまちに関する事業	協働企画提案事業	1,655	40	514
	多様な主体との連携事業	0		
	その他市長が必要と認める事業	-		
合計		9,114,683	4,579	104,875

6 お礼品について(1)

〇お礼品については、創造都市推進局等の関係各課と連携の上、随時、拡充に努めている。

お礼品の推移

年度	お礼品数	主な新規お礼品	年度	お礼品数	主な新規お礼品
H26	16	<ul style="list-style-type: none"> 高松産野菜セット 墓地清掃サービス 松盆栽 	H29	103	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品類(ライスフォース) 
H27	21	<ul style="list-style-type: none"> 高松まつり花火大会特別有料観覧席チケット 瀬戸内国際芸術祭作品鑑賞パスポート 	H30	140	<ul style="list-style-type: none"> イサムノグチ関連グッズ ミニチュアマンホール 香川漆器 カマタマーレ讃岐グッズ 
H28	64	<ul style="list-style-type: none"> 庵治石作品(オブジェ、オーダーメイド等) 			

6 お礼品について(2)

平成30年度お礼品ランキング(寄附総額順)

No	お礼品	寄附件数(件)	寄附総額(千円)
1	化粧品	1,268	52,020
2	高松産果物(いちご、柑橘類等)	871	17,420
3	讃岐うどん	1,104	9,000
4	高松産野菜(野菜セット、アスパラガス等)	313	3,880
5	オリーブ牛	104	3,130

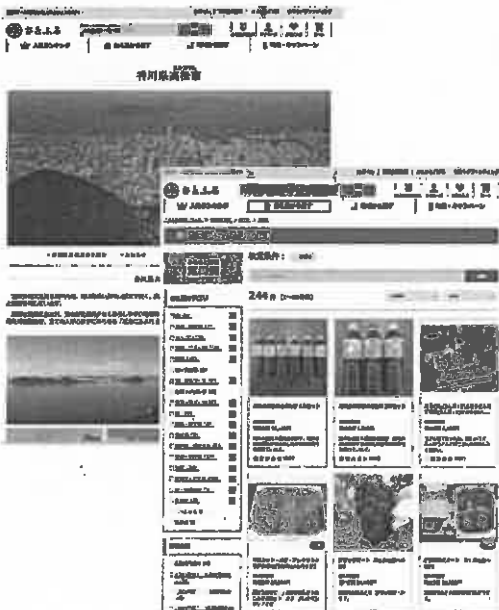
平成30年度お礼品ランキング(寄附件数順)

No	お礼品	寄附件数(件)	寄附総額(千円)
1	化粧品	1,268	52,020
2	讃岐うどん	1,104	9,000
3	高松産果物(いちご、柑橘類等)	871	17,420
4	加工食品(みそ漬け、はちみつ等)	159	2,000
5	オリーブ牛	104	3,130

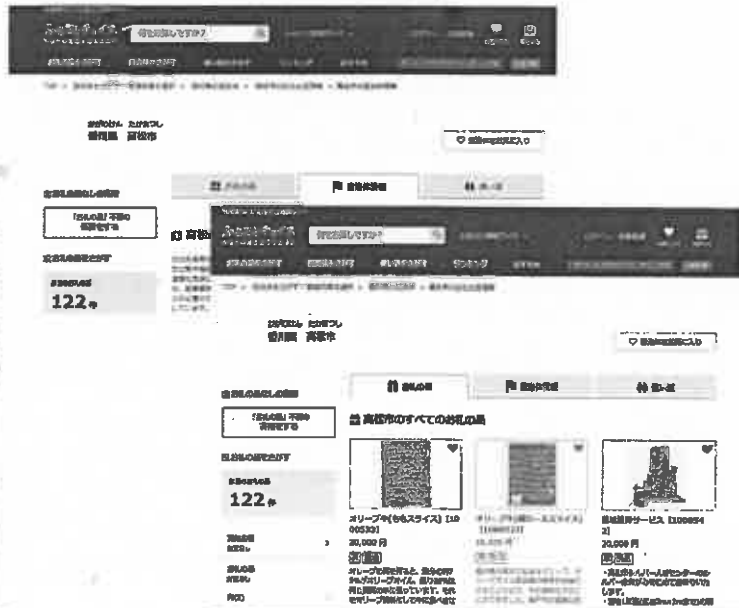
7 今後の拡充策

- ふるさと納税ポータルサイトの追加(8月1日～)
- お礼品の拡充(随時実施)
- クラウドファンディングの実施を検討

さとふる



ふるさとチョイス(8月1日から掲載開始)



たかまつマイロード認定団体一覧

平成30年度末時点

番号	認定年度	団体名	実施市道名	実施日
1	H13	社団法人 倫理研究所 香川県高松市倫理法人会	天神前瓦町線 (通称=菊池寛通り)	毎月第2日曜日
2	H13	社団法人 倫理研究所 香川県高松東倫理法人会	天神前瓦町線 (通称=菊池寛通り)	毎月第2日曜日
3	H13	社団法人 倫理研究所 高松市 家庭倫理の会	天神前瓦町線 (通称=菊池寛通り)	毎月第2日曜日
4	H13	知的障害者通所更生施設 ミルクキーウェイ	通谷線	年4回
5	H13	三谷町平石下自治会	横内西東尾線ほか1路線	年4回
6	H14	高松トキワ新町商店会	瓦町2号線	年4回
7	H14	四国テクニカルメンテナンス(株) 高松事業所	高松海岸2号線	毎月第1木曜日
8	H15	中間町竹藪自治会	中間町46号線ほか7路線	年4回
9	H15	(株)イズミ(造園業)	御殿鬼無線	毎月第3土曜日
10	H15	リコージャパン(株)	木太鬼無線	年6回
11	H16	高松市立太田小学校	朝日町仏生山線 (通称=サン・フラワー通り)	年4回
12	H16	高松市立中央小学校	伏石大池線ほか2路線	年4回
13	H16	日新東北自治会	瀬戸内町8号線ほか1路線	年4回
14	H16	(株)富士通システムズ・ ウエスト	二番町築地線ほか3路線	年4回
15	H16	石井事務機(株)	片原町沖松島線ほか3路線	年4回
16	H17	ふれあい一番地	下笠居3号線ほか4路線	年12回
17	H17	ひまわりグループ	今里上福岡線ほか2路線	年12回
18	H17	日本通運(株)四国支店	高松駅北線ほか1路線	年12回
19	H17	日本道路(株)香川営業所	木太鬼無線	年4回
20	H17	二番丁地区 わかば自治会(百社会)	五番町西宝線	年4回
21	H17	マイロードST鬼無	鬼無町鬼無29号線ほか3路線	年4回
22	H17	日通商事(株)高松支店	錦町宮脇線ほか10路線	年4回
23	H18	(株)日進堂	朝日町仏生山線	年4回
24	H18	北山地区清掃愛護会	北山八幡線ほか1路線	年4回
25	H18	中西自治会	三谷町5号線ほか5路線	年4回
26	H18	矢野グループ	三谷町64号線ほか5路線	年4回
27	H18	西三谷東自治会	三谷林線ほか4路線	年4回
28	H18	東洋工業(株)	魚屋町栗林線ほか3路線	年4回
29	H18	星槎国際高等学校 香川キャンパス高松校	瓦町松島線ほか2路線	年4回

番号	認定 年度	団体名	実施市道名	実施日
30	H18	夢街道YOICHI	新牟礼庵治線	年4回
31	H19	西日本高速道路㈱ 四国支社	福岡町3号線ほか2路線	年4回
32	H19	浜西自治会	新牟礼庵治線	年4回
33	H19	ふる里きらめき倶楽部	尾池丸田線	年4回
34	H19	「小さな親切」運動 庵治町支部	庵治1号線ほか2路線	年4回
35	H19	火山自治会	西三谷・犬の馬場線	年4回
36	H19	株式会社 丸福建設	伏石大池線	年4回
37	H19	浅野福寿会	中間線	年4回
38	H19	川東地区長寿会	川内原東西線ほか4路線	年4回
39	H19	東谷延寿会	東谷塩江線ほか2路線	年4回
40	H19	大野寿会	大野南北線	年4回
41	H20	SGモーターズ㈱	新牟礼庵治線	年4回
42	H20	三愛ロジスティクス㈱	本津川東堤防線	年12回
43	H20	高松高等学院	馬場田町線ほか6路線	年4回
44	H20	専門学校穴吹コンピュータカレッジ 専門学校穴吹ビジネスカレッジ	五番町西宝線ほか5路線	年4回
45	H20	専門学校穴吹動物看護カレッジ	亀井町2号線ほか13路線	年4回
46	H20	穴吹カレッジ	高松海岸線ほか14路線	年4回
47	H20	高松玉藻三越通り振興会	兵庫町丸の内線ほか9路線	年12回
48	H20	多賀本通り自治会	東浜港多賀線	年4回
49	H21	檀道路愛護会	檀線ほか2路線	年4回
50	H21	橋谷道路愛護会	関橋谷ほか2路線	年4回
51	H21	黒石道路愛護会	黒石合具線ほか2路線	年4回
52	H21	戸石道路愛護会	戸石線	年4回
53	H21	安田道路愛護会	高畑安田線ほか1路線	年4回
54	H21	一万道路愛護会	一万線	年4回
55	H21	骨川道路愛護会	骨川線ほか1路線	年4回
56	H21	川地道路愛護会	川地線	年4回
57	H21	小矢谷道路愛護会	小矢谷線	年4回
58	H21	東地道路愛護会	東地線	年4回
59	H21	生山道路愛護会	生山線ほか2路線	年4回

番号	認定年度	団体名	実施市道名	実施日
60	H21	小田道路愛護会	菅沢線ほか1路線	年4回
61	H21	北井道路愛護会	不動線	年4回
62	H21	北内道路愛護会	北内中筋線	年4回
63	H21	中筋道路愛護会	北内中筋線ほか3路線	年4回
64	H21	西の峰道路愛護会	西の峰線	年4回
65	H21	嵯峨野道路愛護会	嵯峨野線	年4回
66	H21	城原道路愛護会	五本松線	年4回
67	H21	物井川道路愛護会	物井川線	年4回
68	H21	堀山道路愛護会	堀山線	年4回
69	H21	松尾道路愛護会	松尾線ほか2路線	年4回
70	H21	一ツ内道路愛護会	日浦線	年4回
71	H21	小出川道路愛護会	下小出川線	年4回
72	H21	下所奥道路愛護会	野田大相線ほか1路線	年4回
73	H21	細井道路愛護会	細井線ほか1路線	年4回
74	H21	下切道路愛護会	下切線	年4回
75	H21	切山道路愛護会	切山線ほか1路線	年4回
76	H21	来栖中村道路愛護会	来栖中村線	年4回
77	H21	マイロード・サンフラワー	朝日町仏生山線	年4回
78	H21	㈱奥村組 四国支店	錦町3号線ほか7路線	年4回
79	H21	庵治・親方クリーン隊	庵治1号線	年4回
80	H21	NTT西日本香川支店 & NTT西日本一四国香川事業部	魚屋町栗林線ほか2路線	年4回
81	H21	㈱オリエンタルコンサルタンツ	兵庫町西通町線ほか8路線	年4回
82	H21	㈱伊予銀行 高松東支店	栗林上福岡線	年12回
83	H21	コネクシオ㈱四国支社	上福岡多肥下町線	年4回
84	H21	原上自治会	三谷池田線ほか8路線	年4回
85	H21	(有)奥村総業	役戸塩屋線	年4回
86	H22	新和開発㈱	木太鬼無線	年4回
87	H22	㈱富士通四国インフォテック	天神前五番町線ほか3路線	年4回
88	H22	高松市赤十字奉仕団 築地分団	魚屋町栗林線	年4回
89	H23	三軒屋北自治会	伏石林線ほか5路線	年4回

番号	認定年度	団体名	実施市道名	実施日
90	H23	美機工(株)	朝日町13号線ほか3路線	年12回
91	H23	サンコー(株)高松営業所	朝日新町12号線ほか3路線	年12回
92	H23	(株)ユメックス	西三谷犬の馬場線ほか2路線	年12回
93	H23	四電エンジニアリング(株)	花ノ宮木太線ほか1路線	年12回
94	H23	(株)四電工	松島町4号線ほか4路線	年6回
95	H23	(株)デンソーセールス 四國支社	福岡町3号線ほか9路線	年4回
96	H23	サンフラワー・花水木	朝日町仏生山線	年4回
97	H23	前田道路(株)香川営業所	前田川島線	年4回
98	H24	香川トヨタ自動車(株)	五番町西宝線ほか1路線	年12回
99	H24	高松中央高等学校	松島町9号線ほか8路線	年12回
100	H24	上之町三丁目春夏秋冬	花園町上之町線ほか1路線	年12回
101	H24	(株)グローバルセンター	朝日町仏生山線ほか1路線	年12回
102	H24	(株)グローバルセンター 番町店	浜ノ町宮脇線ほか1路線	年12回
103	H24	(株)グローバルセンター レインボーロード店	上福岡多肥下町線ほか2路線	年12回
104	H24	(株)グローバルセンター 高松駅前店	高松駅南線ほか1路線	年12回
105	H24	(株)グローバルセンター 瓦町駅前店	古馬場観光通線ほか1路線	年12回
106	H25	穴吹パティシエ福祉カレッジ	西の丸町兵庫町線ほか3路線	年4回
107	H25	穴吹デザインカレッジ 穴吹ビューティカレッジ	高松海岸線ほか3路線	年4回
108	H25	岩井設備株式会社	伏石大池線ほか15路線	年4回
109	H26	(株)Jリスクマネージメント 高松支社	木太鬼無線	年4回
110	H26	NECフィールディング(株) 高松支店	天神前中野町1号線ほか3路線	年4回
111	H26	大和ハウス工業(株) 香川支店	朝日町仏生山線ほか4路線	年4回
112	H27	御坊川周辺の環境をよくしていく 会	南部区画27号線ほか2路線	年4回
113	H28	大町団地ボランティアの会	役戸中道線ほか3路線	年12回
114	H28	下川東マイロード	下川東線ほか2路線	年4回
115	H29	弦打スポーツクラブ	御殿成合線ほか1路線	年4回
116	H30	一般社団法人hito.toco	魚屋町栗林線ほか1線	年4回
117	H30	株式会社カナック	三谷町44号線ほか3線	年4回
118	H30	八栗台ボランティアの会	落合田井線ほか1線	年4回